

第24期・第4回 情報ネットワーク社会基盤分科会 議事要録
(※ビッグデータ分科会、ユビキタス状況認識社会基盤分科会と共同開催)

日 時 令和元年11月15日(金) 12:00～13:00

場 所 日本学術会議6階6-C(1)(2)(3)会議室

出席者(10名、敬称略)

下條、東野、相田、市川、後藤(スカイプ参加)、佐藤、仙石、前田、宮崎(スカイプ参加)、大柴(スカイプ参加)

欠席者(4名、敬称略)

阿草、江崎、澤井、村田

資 料

資料1. 共同分科会議事次第

議 事

1. 本日の公開シンポジウム「Society5.0時代のCPS」の主旨等説明

2. 1月の情報学シンポジウムの開催について。

東京オリンピックにちなんで、「ICTによるスポーツ分野のイノベーション」がテーマで、全分科会をシンポジウム直前に開催する予定である。話者もほぼ決定しており、文科省、NSF、EUから参加の予定であることが報告された。

男女共同参画分科会委員より、講演者が全員男性は日本学術会議のガイドラインに違反している可能性があるとの指摘があり、パネリストに女性を入れる方向で検討し、筑波大学の女性柔道家を推薦していることが報告された。

3. シンポジウム開催計画について。

ビッグデータ分科会で過去に防災関係で進歩を計画したが、ほぼ同時に他の分科会で防災シンポジウムが計画されていることから計画を中止したことの経緯について報告があった。そのため、来年のシンポジウムについては、幅広にテーマを募集したいと考えており、メールで募集することが案内された。

4. 第24期における意思の表出予定について。

意思表出をするかしないかについて議論を行った。今回の意思表出というよりも、今後の議論のスキーム、スケジュール感を共有したいということで一致した。また、DFFPで、通信の秘匿が保証されないケースを政府が問題視していることから透明性を担保する必要がある、その辺の仕組みについて日本学術会議が意思表示すべきではないかという意見があった。

5. その他。特になし。